

平成29年12月14日

保護者の皆様

藤井寺市立第三中学校
校長 丸山 聡

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

寒冷の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年4月18日（火）に3年生で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。

1. 【学力面について】（平均正答率や課題等について）

【国語A問題】（主として知識に関する問題）

本校が、全国・大阪府平均を上回った分類・区分はなかった。全国平均正答率に比べて5%以上下回った分類・区分は『評価の観点』の「話す・聞く能力」と「読む能力」、『問題形式』の「選択式」だった。「話す・聞く能力」は8.4%、「読む能力」は7.1%、「選択式」は5.5%下回った。

設問別では全32問中、7問で大阪府・全国平均正答率を上回った。そのほとんどが「言語についての知識・理解・技能」の領域に関する設問である。また、無解答率が5%を超えた設問は（漢字の問題は除く）、全て『問題形式』が「短答式」の問題であった。

【国語B問題】（主として活用に関する問題）

本校が、全国・大阪府平均を上回った分類・区分はなかった。全国・大阪府平均正答率より最も大きく下回った分類・区分は『評価の観点』の「国語への関心・意欲・態度」で、全国平均を15.1%下回り、次いで「言語についての知識・理解・技能」で全国平均を14.8%下回った。これらの問題が全て「記述式」であり、無解答率も15%を超えていることから、自身が「感じたこと」や「考えたこと」を「書く」ということに苦手意識を持っていると考えられる。

【数学A問題】（主として知識に関する問題）

本校が正答率で大阪府を上回ったのは2問、全国を上回ったのは3問である。10%以上下回った問題は10問あった。また、無回答率が下回ったのは、大阪府・全国ともに8問であった。

領域別では「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」のすべての区分で大阪府・全国平均正答率を下回っている。特に「関数」の区分で正答率が低い。2つの数の関係性については、生活の中にも多く存在し、身近な事象を考えさせるなど、2つの数の関連性について意識できる授業を行っていきたい。

【数学B問題】（主として活用に関する問題）

本校が正答率で上回った問題は、大阪府・全国ともに1問で、全国を15%以上下回った問題が2問あった。また、無回答率が下回ったのは、大阪府で3問、全国で2問あり、最大で20%以上の差がある問題もあった。

領域別ではすべての区分で大阪府・全国平均正答率を下回っている。「数と式」の区分も正答率が低いことから、基礎基本的な計算等を身につけ、さらに応用的な問題にもチャレンジできる応用力を育てる授業を行っていきたい。

2. 【生活面や学習状況について】（生徒質問紙から）

※数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計

①規則正しい生活に関する調査

「毎朝朝食を食べている」→89.7%（昨年比+0.9%） 府90.7% 全国93.2%

「毎日同じくらいの時刻に寝ている」→69.7%（昨年比-5.1%） 府73.7% 全国75.6%

「毎日同じくらいの時刻に起きている」→92.5%（昨年比+2.5%） 府91.1% 全国92.4%

*朝食については、学力との相関関係が指摘されており、きっちりと朝食を摂るなどの基本的生活習慣を身につけることが重要である。

*就寝時刻はスマホなどに影響されると指摘されており、使用時間や使い方を管理することが重要である。

*起床時刻は全国と同様の割合である。

*朝食を含めた朝の時間を大切にし、笑顔で子どもを送り出すことが大切である。

※ご家庭においても、基本的な生活習慣の確立にむけてよろしく願います。

②TV、ゲーム、スマートフォン使用状況に関する調査

「1日2時間以上TV、DVD等を見る」→52.3%（昨年比-8.5%） 府52.6% 全国49.1%

「1日2時間以上ゲーム（スマホを使ったゲームを含む）をする」
→54.3%（昨年比+0.7%） 府43.9% 全国37.6%

「1日に2時間以上携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをする」
→51.4%（昨年比+6.6%） 府39.6% 全国32.2%

「携帯電話やスマホの使い方について家の人との約束を守っている」
→52.3% 府53.4% 全国50.6%

→「約束がない」→27.6% 府23.0% 全国19.8%

「TVやゲームの時間についてのルールを家の人と決めている」
→22.9% 府29.7% 全国34.0%

→「ルールがない」→48.6% 府40.7% 全国36.2%

*TV、DVDは4時間以上が21.0%と府15.8%、全国12.0%を大きく上回っている。

*ゲーム時間も4時間以上が25.7%と府16.1%、全国11.4%を大きく上回り、昨年比では+4.9%と急増している。

*携帯電話・スマホ使用時間が昨年度より長くなっている。また、4時間以上が22.4%とおおよそ4人に1人が長時間の使用となっている。「4時間以上」→府14.4% 全国9.5%

*携帯電話・スマホの使用やTV・ゲームの時間について、約束ごとやルールがない家庭が多くなっている。

*携帯電話・スマホを持っていない生徒は7.5%であり、ほとんどの生徒が持っていることを考えると、やはり家庭での使用方法について約束事等をきっちりと定めて使わせるようにすることが大切である。「持っていない」→府10.1% 全国16.1%

※スマホ等の長時間使用が、家庭学習の集中力に影響したり、睡眠時間に大きく影響するものと考えられます。ぜひとも、ルールや使用方法等についてご家庭でもしっかりと話し合うようよろしく願います。

③家庭学習に関する調査

「平日の学校以外の学習時間が1時間以上（家庭教師・塾含む）」

→61.2%（昨年比+4.8%） 府66.0% 全国69.6%

「土日の学習時間（家庭教師・塾含む）が1時間以上」

→30.9%（昨年比+3.3%） 府34.2% 全国41.8%

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」

→44.4%（昨年比+0.8%） 府48.7% 全国51.5%

「家で学校の宿題をしている」→83.6%（昨年比+1.2%） 府84.1% 全国89.5%

「家で学校の予習をしている」→11.6%（昨年比－9.2%） 府26.7% 全国31.7%
「家で学校の復習をしている」→31.7%（昨年比＋1.3%） 府38.8% 全国50.5%
「1日10分以上読書をする（教科書やマンガ・雑誌は除く）」
→29.8%（昨年比＋3.8%） 府41.1% 全国51.4%

「全く読まない」→59.3% 府45.3% 全国35.6%

＊ 家庭学習の時間では、家庭教師や塾に通っている生徒が68.7%である。また、宿題はしっかりしているが予習・復習の時間が少ないことから、自分で課題を見つけ、計画をたてて学習することが苦手であると考えられる。学校では学級担任や教科担当者がいろいろな場面で指導やアドバイスをしているが、まだまだ定着していない。特に、予習が昨年と比べて半減している。予習は、次の日の授業がとてわかりやすくなるという効果が期待でき、教科書を読むことから始める等、取り組みやすいものである。また、取り組んだ分だけ効果が表れやすい。まずは、予習からはじめることで家庭学習のきっかけになるものと考えている。

※子どものやる気をおこさせ、家庭学習を習慣づけるために、毎日の確認や声かけをよろしく願います。

④学校生活に関する調査

「学校に行くのは楽しい」→80.9%（昨年比＋1.3%） 府78.3% 全国80.9%

「学校の規則を守っている」→93.5%（昨年比－1.7%） 府93.2% 全国95.2%

「友達との約束を守っている」→97.7%（昨年比－0.3%） 府96.4% 全国97.4%

「学校で友達に会うのは楽しいと思う」→97.7%（昨年比＋3.7%） 府93.7% 全国94.6%

＊本校の生徒は友達を大切にしていると結果が出ている。

「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」

→87.0%（昨年比－5.4%） 府91.1% 全国92.8%

＊「学校に行くのは楽しい」と感じている生徒は府を上回っている、また全国と同程度なのは良いことのように思えるが、19.1%の生徒がそう感じていない。また、いじめの質問に対して府・全国を下回っている結果について、本校では大きな課題ととらえている。あらゆる場面をとらえ、いじめを見逃すことなく、早期発見、早期解決に向けた取り組みが何よりも重要である。全教職員で年間3回の教育相談、個人面談を活用し、日々の教育活動の中で子どもの小さな変化も見のがさず、子どもの困り感などを受けとめるなど、迅速かつ適切な対応が行えるよう取り組んでいる。

※ご家庭の方で何かお気づきの点があれば、遠慮なくご相談下さい。

⑤自分に関する調査

「自分にはよいところがある」→67.3%（昨年比＋3.7%） 府65.6% 全国70.7%

「将来の夢や目標を持っている」→61.7%（昨年比＋7.7%） 府68.3% 全国70.5%

＊両方とも昨年より上昇しているが、全国と比べると低くなっている。自己肯定感、自己有用感を高めることが重要であり、褒めることの大切さを教師は認識し、子どもに向きあっていきたい。

※ご家庭でも、子どもを受けとめていることと思いますが、子どもの良いところを見つけ、意識して褒めるということをよろしく願います。

3. 【課題解決に向けて】

≪国語科より≫

大阪・全国平均正答率を上回った問題をみると、漢字の読み書きや語句の意味に関するものがほとんどであることから、漢字を読み書きする能力や語彙力については身につけてきていると考えられる。

一方で、文章を正確に読み取り内容を理解することや、相手に伝わりやすいように語句を選んだり、表現を工夫したりすること、必要な情報を集め、考えたことを書くことなどが課題としてあげられる。話し合いやスピーチに関する問題の正答率も低い。また、【A問題】【B問題】どちらも、「短答式」や「記述式」の問題の無解答率が高いことから、「書くこと」に対して苦手意識をもっている、あるいは問題の意図が理解できていないために答えを出す前に諦めてしまう傾向があると考えられる。

今後は、作文指導や小論文指導の中で自分の考えや思いを「書く」という力を育んでいきたい。また、話し合いやスピーチなどの言語活動も積極的に取り入れ、課題克服を図っていきたい。

≪数学科より≫

【A問題】の結果から、基礎的・基本的な知識や技術が十分に身につけていない生徒が見られる。当然その生徒の中には生徒質問紙の結果からもわかるように、数学が好きではない生徒が多くいると考えている。基礎的・基本的な知識や技術の定着をはかった上で、数学的な見方や考え方による学びや活動を通し、主体的な学びにつなげていく必要がある。

また、反復練習のみによる定着だけではなく、多面的なものの見方や考え方ができるよう、授業の中での問いかけ方の工夫、ICT機器を活用した教材の開発や数学的な考え方に根ざした発表の機会を与えるなど、生徒の深い学びにつながるようにしていきたい。

≪学習面を通して≫

全ての教科に共通して、本校生徒は語彙力に課題が見られる。SNSのような文章ではなく、本を読むことにより身につく語彙力はある。学校においてもそういう機会を積極的に取り入れている。朝学習では、視写による「文字を読み、書く」という時間を確保し、生徒たちは落ち着いた雰囲気の中で取り組んでいる。学校では、いろいろな場面で自分の考えを整理し、文章表現する力をつけるための取り組みをしている。すべての授業において、人の考えをきちんと聞き、自分の考えをきちんと伝える、という事に重点をおいた授業をめざし、今後もより充実した教育活動に取り組んでいきたい。

≪全体を通して≫

・生徒質問紙による調査では、家庭学習の定着に課題があった。第三中学校では、「放課後ゆめ教室」を設定し、自学・自習の場を開設している。また、テスト前には、全学年で「質問会」などの勉強会を実施している。数学科では「週末プリント」を配布し、各教科においてもいろいろな課題を提供している。これらが家庭学習のきっかけとなるような取り組みを、今後さらに充実していきたい。

・読書時間は、全く本を読まない生徒が府・全国に比べて大変多い。一人でも多くの生徒が本に親しみ、本に興味を持つことはとても大切である。各教科においては、音読、読書タイムなど、教科に応じた取り組みを行っている。学校図書館の充実も、本に親しむ大きな要因の一つであると考えている。親しみやすく、読みたい本・読ませたい本がある図書館を目ざして、学校図書館司書を中心に蔵書の管理、図書館の環境整備に取り組んでいる。

※休日に、家族で美術館・図書館・博物館に出かけましょう。

※新聞・ニュースを通じて、あらゆる分野について話し合うことも大切であり活字に親しめる環境を整えることが大切です。

≪最後に≫

今回の調査結果を踏まえ、本校における子どもたちの現状（学力面・生活面）を把握するとともに、成果と課題等について検証・研究し、今後の方策について取りまとめました。

特に、課題解決に向けては、子どもたちの実態に応じた具体的な方策を立てるなど、取り組みを進めていきます。

一方で、子どもたちの学力向上・健やかな成長には、基本的な生活習慣の確立、家庭学習の定着は欠かせません。また、スマートフォン等でのメール（ライン）やインターネットの使い方に対する指導・アドバイス、使用するためのルール作りが必要です。学校だけでなく、家庭の協力なしにはできません。

学校と家庭が連携を図りながら、子どもたちと向き合い、「わかりやすく伝える・子どもの思いを聞く（子どもが話せる環境づくり）」ことが何よりも大切です。子どもたちの健やかな成長のためにも、学校・家庭・地域がともに歩みながら取り組んでいきたいと思えます。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。